

◆ 平成 25 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育推進部 門学科委員 学科教務委員	学科の教員会議終了後	学科の教員会議 による	<p>テーマ カリキュラム見直しに係るアンケート準備とファシリテーション研修</p> <p>実施目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムの内容検討を継続するためのアンケート調査の準備 2. ファシリテーションを中心とするグループワークの研修 <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学科の科目構成のあり方を学生・教員双方のアンケート調査（後期に実施を計画する）から新たに考えるために調査準備を行う。 2. 学科内 FD として申請採択されたファシリテーションを中心とするグループワークの研修を進める。
人間文化学部 健康科学科	中瀬古 哲 杉山 寿美	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、毎月第 2 火曜（学科会議終了後） ・事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家を招聘し学習会を実施する。 	会議室等	<p>テーマ 実験系学科における「教育の質保障」と「SNE(Special Educational Needs)」の統一</p> <p>実施目的 近年、社会的コミュニケーションに何らかの課題を有する学生の増加に伴い、高等教育機関においても、その教学システムの特質に応じて SNE への適切な対応システムを模索・構築することが求められている。特に、集団活動を前提とした実験・実習（学外を含む）が教学システムの中核である実験系の本学科においてはその対応は緊急の課題である。そのための基礎的知見を蓄積・共有することが平成 25 年度 FD 活動の目的である。</p> <p>実施内容 毎月一回、授業における SNE に関する情報を、交流・共有・記録する。事例等の実態に応じ、必要が生じた場合は、専門家を招聘し学習会を実施する。</p>
保健福祉学部 看護学科	山中 道代	8 月 26 日（月）午後	保健福祉学部 4 号館 6 階 4601 会議室	<p>テーマ ファシリテーターの役割を体験から学ぶ</p> <p>実施目的 看護学科では、グループワークを活性化させる・学びを引き出す技法としてのファシリテーション技術を高める取組を継続的に行っている。昨年ごろから、研修に参加した教員が担当科目にファシリテーション技術を導入するようになってきた。これらの取組を支援し、より活発にするために今年度は、ファシリテーション技術をさらに高めることを目的として、スペシャリストの指導のもと、ファシリテーションを実際に体験する研修会を計画している。</p> <p>実施内容 講義・演習を併せて 3 時間程度の研修会を計画している。講師（九州大学大学院総合新領域学府客員准教授 加留部貴行先生）と体験型の研修で行う事である。</p>
保健福祉学部 看護学科 教育課程検討会	松森 直美	1 回/月（定例で行っている教育課程検討会の中で実施する）	会議室等	<p>テーマ 看護学科教育課程の継続評価と将来構想に関する検討</p> <p>実施目的 新カリキュラムと旧カリキュラムの課題や学年ごとの大学生活の充実度や満足度の認識の差を明らかにし、看護基礎教育における現状の課題と対策についての理解を深める。目的達成のため、本年度は抄読会の実施を計画している。</p> <p>実施内容 看護学科カリキュラムに関する在校生への意識調査結果の活用と継続調査の検討。看護教育方法に関する文献抄読会の実施。</p>
保健福祉学部 理学療法学科	田中 聡学科長	<ul style="list-style-type: none"> ・学科会議時の討議・検討 → 毎水曜日の 4 時限目 ・勉強会（月 1 回） → 第 2 水曜日の 4 時限目 	2 号館 4 階 2406 会議室	<p>実施目的 学生の学内および学外（臨床実習）での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 臨床実習中の学生の学習支援、および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援についての対応を討議する。 ② 主として教育方法に関わる勉強会を実施する。

保健福祉学部 作業療法学科	山西 葉子	①第2・4水曜 12時30分～13時 ②6月26日(水)12時半～13時 ③9月25日(水)13時～14時	①, ②2416室 ③未定	<p>テーマ 国際基準の作業療法教育について</p> <p>実施目的 刻々と変化する作業療法の臨床, 研究に関する新しい知見を共有し, 国際的に活躍できる作業療法士の育成を図るための教育のあり方について共有する。</p> <p>実施内容</p> <p>①定例会議前に抄読会を開催し, 最新の研究等について共有する。</p> <p>②講師: 吉川ひろみ 世界作業療法協会の最新の指針, 国際的作業療法の動向について共有し, 今後の作業療法教育について討議する。</p> <p>③講師: 鈴木明子(初代 OT 協会会長) グローバル人材育成推進事業に関わる視点から, 国際的に活躍できる人材育成のための教育について討議する。</p>
保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科	渡辺 眞澄 津田 哲也	詳細日程は調整中である。 毎回の開始時間は12:10～	1309 演習室, その他	<p>テーマ 教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上</p> <p>実施目的 コミュニケーション障害学科の教員間, および教員と学外実習施設の言語聴覚士との間で, 各々がやっている研究・教育・指導方法の工夫内容を共有することにより, 研究・教育の向上をはかる。</p> <p>実施内容 教員が行っている研究の紹介, 教育における工夫, 参加した学会・研究会の報告, 意見交換を行う。また, 学外実習施設の言語聴覚士を交えて, 実習指導における問題点, 指導上の工夫点等について情報を共有し, 指導内容の向上をはかる。実施はおよそ月に1回のペースで行う。</p>
保健福祉学部 人間福祉学科	江本 純子	1)～5) いずれも, 週1回から月1回程度で行い, さらに学科会議(月1回実施)で検討を深める。	いずれも三原キャンパス内で実施する。	<p>テーマ 福祉を学ぶ学生の入学前から卒業に至るまでの包括的支援</p> <p>実施目的 人間福祉学科では, 学生の入学前から卒業後に至るまで一貫した支援を実施すべく, 平成25年度から6つのチームを組んで, 会議を開催している。今年度のFD活動は, このうち, 入試対策等会議, チューター学生相談等会議, 就職活動国家試験対策等会議, 社会福祉等実習会議, 精神保健福祉等実習会議が中心になって行う詳細な検討を主軸にして展開する。</p> <p>実施内容</p> <p>1) 入試対策会議: 入学前の学生に社会福祉に関する理解を深めるための活動を行う。</p> <p>2) チューター学生相談等会議: 学生生活全般(学習を含む)についての支援を行う。</p> <p>3) 就職活動国家試験対策等会議: 求人情報・内定状況検討, 国家試験対策学習会の運営を行う。</p> <p>4) 社会福祉等実習会議・精神保健福祉実習会議: 現場実習教育に関する検討を行う。</p> <p>5) 効果的な授業のあり方と評価等に関する検討を行う。</p>
保健福祉学部 附属診療センター	林 優子	平成25年7月31日(水) 16:30～17:30 講演	三原キャンパス 4号館1階 4101 講義室	<p>テーマ みんなで考える医療のリスクマネージメント—訴訟事例を題材に—</p> <p>実施目的 県立広島大学保健福祉学部および附属診療センターの教職員が最新の医療安全の知識を学ぶことにより学生教育や自身の医療の安全確保の向上を図る。</p> <p>実施内容 講師 広島大学保健管理センター 日山亨先生による講演 その後, 関係者・希望者とのディスカッション</p> <p>その他 医療機関に実施を義務付けられている必要な医療安全研修会の役割も担っている。</p>